

哲 學 研 究



第六卷 第七册
第六十四號

大 正 十 年 七 月 一 日 發 行

漢書藝文志の歴史觀……………文學士 丹羽正義

哲學と人生……………文學士 勝部謙造

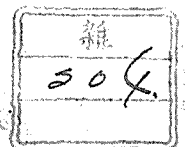
ハウプトマンの神秘主義……………文學士 成瀬無極

プラトンの美學(承前)……………文學博士 深田康算

關係對象について……………文學士 務臺理作

學界近況、新著紹介、彙報……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內
京 都 哲 學 會



京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得ルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會ス
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	波多野精一
文學博士	西田幾多郎
文學博士	朝永三十郎
文學士	千葉胤成
文學博士	狩野直喜
文學博士	米田庄太郎
文學博士	高瀬武次郎
文學博士	田邊元
文學士	務臺理作
文學士	植田壽藏
文學博士	野上俊夫
文學博士	松本文三郎
文學博士	深田康算
文學博士	藤井健治郎
文學博士	小西重直
文學士	澤村專太郎
寶嚴方夫	

書記

を再び出版するに至つた動機に至つては吾々の了解に苦しむ節もないではないが吾々は博士が後學の者乃至は支那學に素養薄き民衆に對する啓蒙的親切心の發露からなされたこと、推測する、斯く推測すれば此書は啓蒙的功績を充分に收獲する事は出来やうが多少なり宋學に造詣ある者を裨益するか否かは吾々には速断は出来ない。二十年の歲月は徒爾では過ぎない、吾々は博士の名を日本支那哲學研究史 に不朽にするために博士が更に二十年間に蓄積した學殖を傾倒して進歩向上せる博士が今日如何に二程子の學說を理解するかを垂示して一には専門の支那學者を裨益し、二には二十年間の努力が如何に偉大貴重なるかを吾々後學に實證し吾々をして奮起するところあらしめば幸之に過ぎるものはない。

(浦川、東京大同館發行正價貳圓)

贈寄書籍雜誌

テユウキ一書
哲學の改造

文學士 中島 慎一 譯
東京 岩波書店

京都帝國大學第十二回講演會

八月一日より同十日迄の間に於て左記の講演開催の筈。

一、申込期日 七月二十日限り

エルンスト・グローセ著
藝術の起源

東京 安藤弘譯
岩波書店

智識の問題(カント認識論の解釋)

村岡省五郎著
岩波書店

ヘンリー・マーシャル著
美の原理

東京 相良徳三譯
大村書店

研究參考
教授法及管理法

同 文館編輯部編
館

同上
東洋倫理學

同上

同上
倫理學史

同上

哲學雜誌、丁酉倫理講演集、心理研究、宗教研究、東洋哲學、六合雜誌、日華公論、學校教育、教育、内外教育評論、教育學術界、教育研究、教育時論、中等教育、教育問題研究、文化運動

一、聽講志望者は聽講料として一科目につき金貳圓を添へ申込まるべし、但し申込書には聽講科目、族籍現住所、年齢及業務を記載し宛名は京都帝國大學講演會とすること。

國際聯盟

(一日——六日)

法學部教授

跡部 定次郎

通俗看護學並ニ實習 (家庭ノ主婦ガ心得ヘキ一般)

(二日——十日)

醫學部助教授

眞下 俊一

社會的婦人病學 (婦人問題ニ關スル產科婦人科學上ノ根本知識)

(三日——十日)

醫學部助教授

柏原 長弘

水力

水力ノ發達、電力ノ便途、歐米各國ニ於ケル水力ノ現勢、電力供給ノ變化、貯水ノ必要、水力土木一般並ニ附屬設備、魚道、サイツタンク、潮汐利用ノ水力、各種工事ノ幻燈

(一日——六日)

工學部助教授

平野 正雄

油脂及石油工業附戰時及戰後化學工業大勢

一、油脂化學、油脂採製、精製法、應用工業
特ニ硬化油製造、加水分解法、二、石油ノ產出、生因成分性狀、分留、及精製法、ガソリン製造及回收法、三、戰時及戰後化學工業ノ大勢

(二日——八日)

工學部教授

喜多 源逸

住宅改良ニ就テ

一、我國住宅ノ現狀、二、外國ノ住宅、三、我國住宅ノ改良スヘキ點及改良方法

(一日——四日)

工學部助教授

藤井 厚二

現代文化人ノ心理

(二日——五日)

文學部教授

米田 庄太郎

人及藝術家トシテノワグナル

(一日——六日)

文學部助教授

成瀬 清

X	線	(一日——九日)	理學部教授	石野	又吉
相 對	原 律	(一日——九日)	理學部教授	水野	敏之丞
地 震 學	ノ 最 近	(一日——六日)	理學部教授	志田	順
非ユークリッド幾何		(一日——十日)	理學部教授	西内	貞吉
聽講者ハ徵積分初歩ノ知識ヲ要ス					
有機化合物ニ於ケル金屬ノ接觸作用		(一日——八日)	理學部教授	小松	茂
(實驗供覽)					
貸 借 對 照 表	ニ 就 テ	(一日——六日)	經濟學部助教授	大森	研造
經 濟 生 活 觀		(一日——六日)	經濟學部助教授	作田	莊一
新カント派ノ社會哲學	(一日——六日)		經濟學部講師	恒藤	恭
右ノ外會期中左ノ科外(夜間)講演ヲ開ク(聽講料ヲ要セス)					
八月一日	午後七時	財政ヨリ見たル戰後ノ列強	經濟學部教授	小川	郷太郎
八月二日	同	法律上ノ船	經濟學部教授	鳥賀	陽然良
八月三日	同	未定	文學部教授	西田	幾多郎
八月四日	同	人類最古ノ文化(幻燈使用)	文學部教授	濱田	耕作
八月五日	同	動物ノ生活狀態(幻燈使用)	理學部教授	川村	多實二

前 號 目 次

道徳の特質に就いて.....	文學博士	西	晋一郎
認識主觀の問題(承前).....	文學博士	田	邊元
繪畫の對象.....	文學士	植	田壽藏
合理性對非合理性の問題を通じて觀たる『極限概念の哲學』.....	法學博士	左	右田喜一郎
彙報.....			

告 會

- 一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ規定ノ會費（前表紙裏ニアリ）御納付ノ上御申込被下度候
- 一、會員ニシテ轉居ノ節ハ直チニ其旨御報知被下度候
- 一、會費ハ振替口座大阪麥〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
- 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内
京都哲學會
振替口座大阪麥〇六六叁番

定 規 文 註

- ◎會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は内
外出版株式會社へ御申込下され度候
- ◎本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さる
べく候
- ◎振替貯金にて御送金は（振替大阪三三九五五番）内外出版
株式會社宛に願上候
- ◎前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに
付直に御拂込下され度候
- ◎特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下
され度候

價 定

冊	數	定	價	一	郵	稅
一	冊	金	四	拾	錢	壹
六	冊	金	貳	圓	四	拾
十二	冊	金	四	圓	八	拾

廣告料

一頁 金貳拾圓 半頁ハ取扱不申

大正十年六月二十七日印刷納本
大正十年七月 一日發 行
第六十四號 第六卷
第七册

製複許不
載 轉 禁

編輯者 京都帝國大學文學部内
京都哲學會

右代表者 寶 嚴 方 夫

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發行所

京都市下京區
北小路新町西
内外出版株式會社
振替口座大阪三三九五五番

發賣元

京都市下京區北小路通新町西
東京市京橋區加賀町十番地
内外出版株式會社
振替口座大阪三三九五五番

賣捌所

（東京） 東京堂、東海堂、北隆館、
上田屋、（大阪） 盛文館、三文社
（神戸） 寶文館、川瀬書店
（京都） 共盛社

京都帝國大學
教授文學博士

藤井乙男先生著

船川未乾氏裝幀

再版

江戸文學研究

八百餘頁
五十餘篇
五美金本
定價金五圓
送料十八錢

本書は國文學殊に近代文學の權威たる著者が、積年その蘊蓄を傾けて研究された貴重なる成果であつて、篇を分つこと五十餘、博く國學、小説、戯曲、俳諧、歌謠等の諸方面に亘り、精細周到なる觀察論評と共に、世間未知の珍奇にして趣味に富める資料は、慥に讀者の感興を惹くこと深し。著者が久しい間の沈黙を破つて此好著を我讀書界に提供せられたることは讀者子の渴望を充し、期待に副ふものとして弊社の誇とする所である。

大正五年四月六日第三種郵便物認可
大正十年六月二十七日印刷納本(毎月一回一日發行)

哲學研究 第六十四號

振替口座
三二九五六
大坂

內外出版株式會社

東京市都橋區新七條上ル
東京市都橋區賀十

發行所